

# 日刊みなと新聞

2月2日月曜日  
2015年(平成27年)

発行所  
みなと山口合同新聞社◎  
〒750-8506 下関市東大和町1丁目1-7  
☎083(266)3214 土曜・日曜・祝日休刊

水産物荷おろしは信頼される  
**高株式会社丸高**  
代表取締役社長 村瀬文和  
名古屋市中央卸売市場本場内  
電話 052(683)3985代

## 札幌・いずみHD

【札幌】生鮮卸会社を傘下に収めるいずみホールディングス(HD、本社・札幌市、泉卓真社長)は、飲食店仕入れ担当者などプロ向けのECサイト「日本卸売市場」を立ち上げ、2月から本格稼働を始めた。

## 飲食店向けECサイト

# 「日本卸売市場」本格稼働 旬の道産鮮魚介など全国、海外配送

同グループは2004年札幌市場外に立ち上げた水産卸「いずみ」を母体にして近年、畜産や農産卸など事業領域を拡大。事業会社はいずみ(飲食店向け水産卸)、魚(量販・荷受など大口向け水産卸)、T・R・E・X(畜産卸)、I・F・A・R・M(農産卸)、運送・不動産のASSET RISE(不動産・物流業。大手外食チェーン、中小飲食店へ産直や市場仕入れの生鮮品卸を中心に量販店や本州荷受

にも出荷する。15年1月期グループ売上高は約30億円。日本卸売市場は昨年6月、6番目の事業会社として設立。道産の産直や市場仕入れの生鮮品を全国飲食店や業務筋、海外の日本食レストランなどに販売していく計画だ。現時点でサイトでは約3000品目を扱う。うち「水産市場」では鮮魚介類、冷凍魚介類、加工品含め約1300品をラインアップ。休業日を除く月々土曜日は産地や仕入れ市場から動画中継を配信して一押し旬の産品を紹介する。物流・決済はヤマト運輸が展開する企業間配送・決済代行サービスを活用。送料は税抜き額1万円以上

「仲買」(会員)登録も無料。昨秋の立ち上げ後、同社の首都圏営業グループが東京・新宿や新橋の飲食店にポスティングや個別訪問を行って会員登録を促し、約1200店の仲間登録を確保。先月までをリサーチ期間と位置づけ、テスト運用を重ねてきた。

飲食店にとっては水産、畜産、農産の各商品の一括発注・配送により

仕入れコストが低減。まメニューや店舗開発、従業員の道産の旬の生鮮品がアップされており、メニューのアイデアにつながり、市場に出向くなど任せてワンストップの仕入れに関する努力や時間を軽減でき、「その分を担う飲食業とともに成長し、当社も食品流通業を高いレベルのサービス産業に引き上げていきたい」(泉社長)と話している。

▼日本卸売市場 11月30日  
//www.jwh-g.com

日本卸売市場のサイト



日替わりでおすすり食材を動画配信。この日は旬の道産鮮魚ボックスを紹介



1万円以上